

一般社団法人 地理情報システム学会

**2025年度GIS教育実践アワード**  
－初等中等教育におけるGISを活用した授業に係る優良事例表彰－  
選定結果について

地理情報システム学会では、初等中等教育現場においてGIS（地理情報システム）を実践的に活用した授業の普及・展開の契機とするため、授業において先導的な取り組みを実践している教員やグループ※を対象とする表彰制度を2010年度に創設し、今年も事例を募集いたしました。（募集期間：2025年7月1日から8月31日／主催：一般社団法人地理情報システム学会、後援：国土交通省、文部科学省、一般財団法人日本地図センター、ESRI ジャパン株式会社、一般社団法人文地理学会、日本地図学会、公益社団法人日本地理学会、毎日新聞社）※初等中等教育現場において、GISを実践的に活用した授業に取り組んでいる教員以外の方も含みます。

その結果、10件の応募があり、9月18日に地理情報システム学会、国土交通省、文部科学省から構成する審査委員会を開催し、表彰事例を選定しましたので、以下の通り報告いたします。（敬称略）

**【国土交通大臣賞：総合的な観点】**

- ・地形×創作 研究プロジェクト（兵庫教育大学学校教育研究科）

「地形×創作×GIS:GISと創作表現活動を往還・融合した地理学習の実践」

**【地理情報システム学会賞：GISの効果的な活用の観点】**

- ・畔田 豊年（兵庫県立龍野高等学校）

「G I Sとオープンデータを活用した探究活動（2020～2024年）」

**【日本地図センター賞：地図の効果的な利用の観点】**

- ・鈴木 泰幸（神奈川県・私立洗足学園中学高等学校）

「地理総合における地域課題分析のためのWebGIS活用について～大都市内部のフードデパートを可視化しよう～」

**【ESRI ジャパン賞：GISの教育的な利用の観点】**

- ・木場 篤（ノートルダム清心中・高等学校）

「WebGIS×地域づくり—高等学校「地理総合」と「地理探究」を結んだ授業実践—」

なお、受賞者は、2025年11月1日（土）～2日（日）に富山大学で開催される第34回地理情報システム学会研究発表大会内の企画セッション（11月1日（土）11:00～12:40 <https://www.gisa-japan.org/conferences/>）において表彰するとともに、事例発表をしていただく予定です。

以上